

18名から回答（85.7%）があり、Aが4点、Bが3点、Cが2点、Dが1点で集計し平均を出した。項目によっては全員が回答していない項目もあります。

A：十分できている B：大体できている C：あまりできていない D：ぜんぜんできていない

## 令和6年度2学期小樽幼稚園教職員自己評価集計

項目	評価項目	自己評価				平均
心豊かで たくまし い子どもの 育成	「まことの保育」を意識した教育活動を推進している。	2	10	0	0	3.2
	子どもの主体的な活動を促す遊びを工夫している。	3	9	2	0	3.1
	教育活動のつながりを意識し、ねらいを明確にした活動をしている。	3	5	3	0	3.0
	継続的に体力向上に向けた活動を工夫している。	1	9	1	0	3.0
	基本的な生活習慣や園生活の流れの定着を図っている。	8	7	1	0	3.4
	子どものよさを見つけ、価値づけ、子どもに伝え意欲を高めている。	7	8	0	0	3.5
	子どもたちが安心して自分の力を発揮できる温かな雰囲気の学級づくりをしている。	6	5	0	0	3.5
	子どもの人権・人格を尊重し、子どもの心を傷つけたり、呼び捨てにするなど、不適切保育はしていない。	8	8	0	0	3.5
安全・安 心を基盤 とした園 生活をつ くる	保育室は安全で清潔感のある整理整頓された環境構成をしている。	2	10	3	0	2.9
	保育終了後、玄関や窓の施錠、ストーブの消火等の安全確認ができている。	6	4	0	0	3.5
	園内・園外活動の際は、「もしも」という発想で危機を意識し、未然防止に努めている。	5	11	0	0	3.3
	登園時の視診を徹底し、常に幼児の体調面に配慮している。	5	9	0	0	3.4
	体調不良の幼児に休息をとらせたり、家庭へ連絡するなど適切な処置をしている。	4	9	0	0	3.3
保護者や 地域社会 との連携	関係機関や施設等と連携し、教育活動の充実を図っている。	3	4	0	0	3.4
	保護者に接する態度は礼儀をわきまえ、保護者の話に心を開いて耳を傾けている。	7	8	0	0	3.5
	日常的に保護者と子どもに関する情報交換がなされ、意思疎通ができる。	3	6	0	0	3.3
	クラスだより等を工夫して、きめ細かく幼児の様子を知らせている。	2	5	1	0	3.1
	事故や問題が起きた場合の、保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。	1	7	0	0	3.1
	保護者への連絡や配布物は忘れることなく適切に行っている。	4	7	0	0	3.4
意欲的に 学び相互 啓発する 教職員の 育成	機会あるごとに幼稚園教諭として、専門知識や技能を身に付けようと努力している。	1	7	2	0	2.9
	組織で動くことを意識し、報告・連絡・相談をしっかり行っている。	6	10	2	0	3.2
	共同で保育を行う際、互いに情報や意見交換を適切に行っている。	7	7	1	0	3.4
	行事等の教育活動の準備は、十分な見通しをもって行っている。	3	6	2	0	3.1
	前例踏襲にこだわらず、新たな発想で教育活動を工夫している。	3	4	2	0	3.1
	疑問に思ったことは気軽に他の教職員に聞いたり自分の思いを伝えることができている。	6	11	1	0	3.5
	服装身なりは常に清潔に保ち、園児、保護者等他人に不快感を与えていない。	7	10	1	0	3.3
	使用した備品や書類等の整理・整頓、自己の机上整理ができている。	5	4	4	1	2.9

### 【自由記述】

- ・保護者評価を見ると、よく園の事を見ているなど感じます。評価のためというわけではありませんが、職員一人一人がもう一度初心に戻り、服装、身だしなみは適切か、笑顔で丁寧なかかわりをしているのか等、自分自身を振り返りながら謙虚な姿勢で保育にあたることが必要だと思いますし、自分自身も努力したいと思います。
- ・自分たちで考え進めていく活動を多く取り入れ、発表会や参観でその様子を見てもらえたことは良かったかなと思う。
- ・なかなか計画通りに事が進められず、たまってしまう事が多いと思いました。少しでも前に進める様時間を上手く使わないとダメだと感じています。
- ・来年度も担任を持たせていただくことを踏まえ、(もちろん現在のクラスの子どもたちのためにも) 更なるスキルアップができるよう、いろいろな面での勉強に努めます。
- ・個人面談を終えて、改めてひとりひとりをきちんと見ていかなければいけないと感じています。
- ・同じクラスに配属されている先生間や、園の先生間でも、他人事を感じることがある。常に自分の事と思いながら、他の学年の事の把握や自分の入っているクラスの事を考えて欲しい。
- ・お部屋の環境構成や後始末、見回り、最後、園長先生に任せてしまっている自分がいるので、しっかりとダブルチェックしていきたい。(部屋の管理を徹底していきたい。)
- ・自分が頑張って伝えているつもりでも、保護者の方に連携が取れていないと一人にでも思われている時点で、足りていないのだと思う。
- ・新園舎になるにあたって、自分がまだわかっていない部分を詳しく知り、常に私も説明できる立場でいられるようにする。
- ・保育室の安全や清潔感、整理整頓はもっとしっかりできるよう日頃から気をつけてやっていかなければと思います。
- ・報・連・相、事前準備、確認がぎりぎりになくなってしまうため、見通しを持った行動(カレンダーに記入したり、提出日より一週間前には用意する)などをします。その場の臨機応変な対応にも対処できるように、想像力の向上をしていきます。
- ・子どもたちがかけがえのない一人の人間として大切にされ、安心して自分の力を発揮できる幼稚園を創りたいと思っています。そのためには、常に、職員が受容的・共感的に子どもたちと接し、子どもたちに自己決定の場を与え、自己存在感を高めていくことが求められますが、既にこのような関わりがたくさん見られ、子どもたちが成長してきています。新園舎になんでも継続していきましょう。

ほとんどの項目が平均3.0(大体できている)以上となっているが、保育室の整理整頓、使用した備品等の整理整頓、机上整理が2.9と低くなっている。忙しくて大変かと思いますが、特に、保育室の安全、清潔は日頃から徹底できるようにしましょう。子どもの事故発生の恐れがあります。また、机上を整理することにより、仕事も整理できると思いますので常に心がけましょう。

## <改善に向けて>

### ① 保育室等の整理整頓

- ・保育終了後、担任は保育室の整理整頓すること。
- ・保育室に園児にとって危険な物が無いか確認し、安全な環境を維持すること。
- ・使用した物は元の場所に戻すこと。退勤時には机上を整理整頓すること。

### ② 共通実践について今一度確認すること

- ・子どもの名前の呼び方は、呼び捨てにしないこと。
- ・出勤簿の押印、保育日誌の提出、時間外勤務の縮減について配意すること。
- ・職員の名札は付けること。
- ・保護者、子どもに笑顔で丁寧な関わりをすること。
- ・報連相は徹底すること。